

ビル用マルチ冷媒サブクールシステム

エバチルド[®]システム



冷媒サブクールシステムが進化

■1台のビルマルから簡単に導入できる冷媒サブクールシステム

1台のビルマルから
小規模システム向き

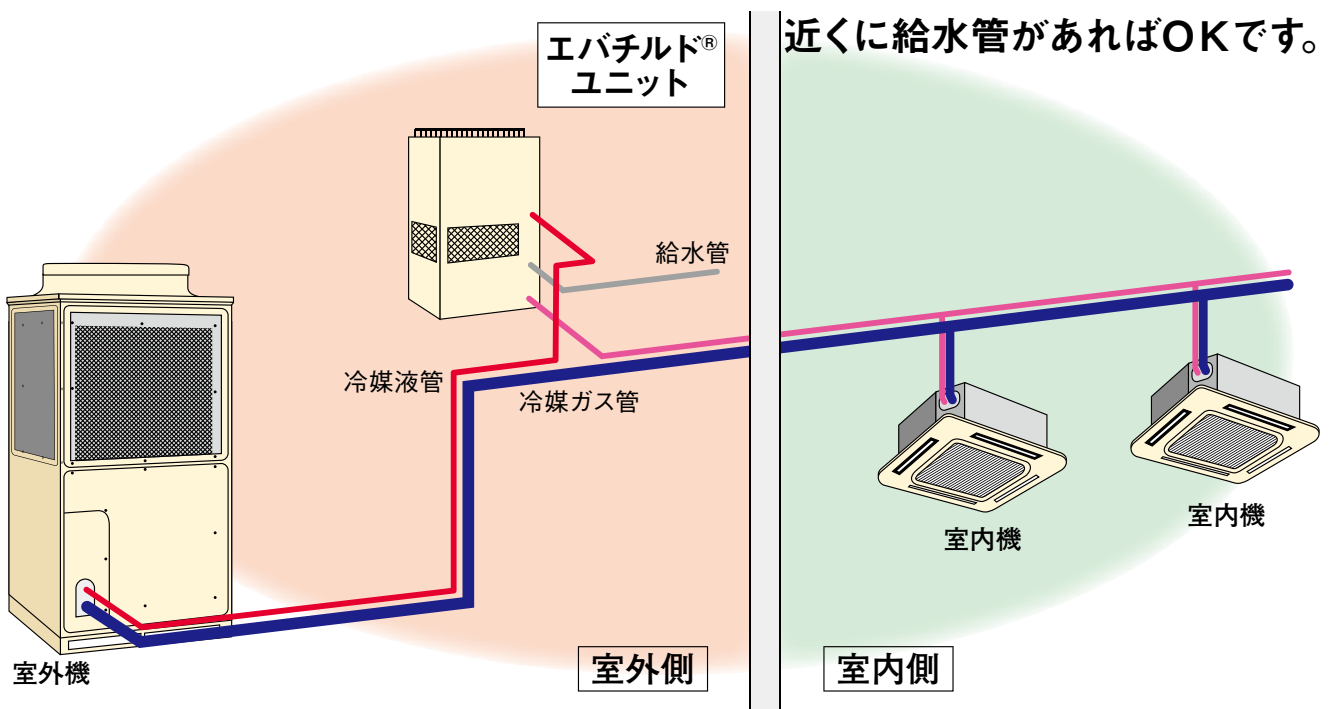
省施工で
冷却水配管不要

無駄な運転なく
冷房負荷に応じた運転

ヒートアイランド現象の緩和へ効果的です。

省エネルギー・ピークカット効果により、運転費を削減します。
既存のビルマルの冷房能力アップで、室内環境を改善します。

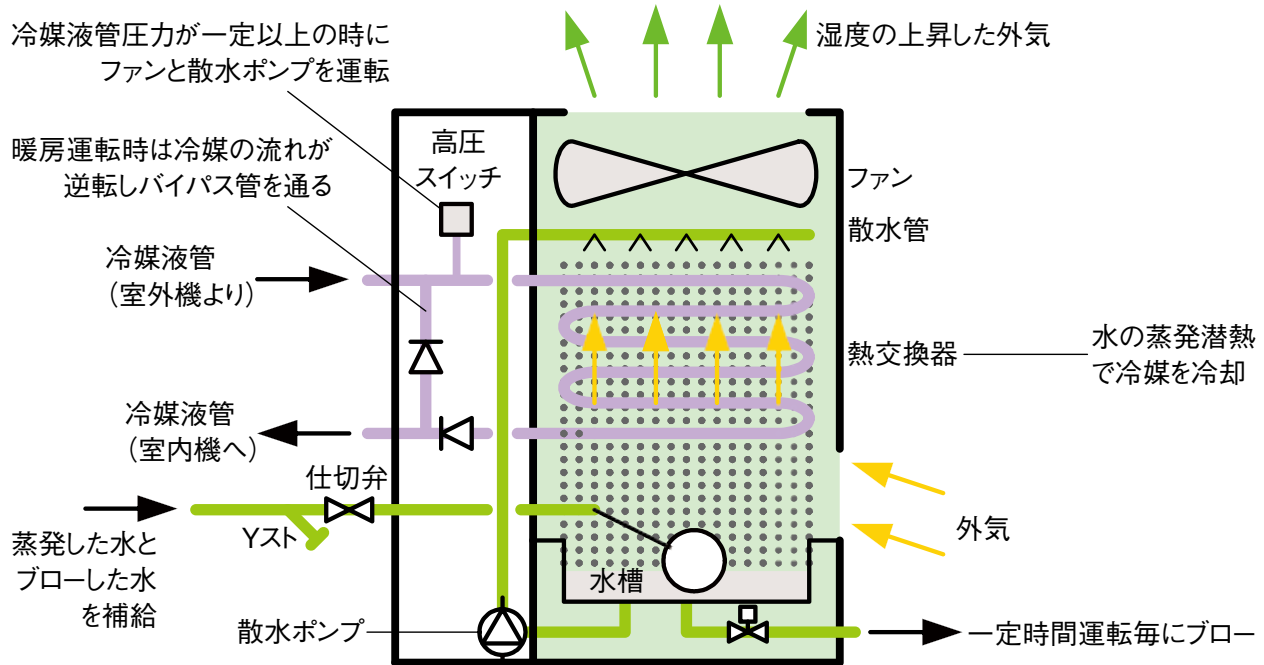
■エバチルド® ユニットの接続するだけのシンプルな構成



※ ビル用マルチ機種や設置条件によっては、対応できない場合があります。お問い合わせください。

小規模システム向け・省施工型

■エバチルド® ユニットの構造



■エバチルド® システムの省エネ効果の試算例 (冷房用空調動力)

冷媒種類	建物用途	ビルマルの容量	
		18馬力	30馬力
R407C	事務所	▲17.1%	▲13.5%
	店舗	▲18.7%	▲14.8%
R410A	事務所	▲10.0%	▲8.3%
	店舗	▲10.8%	▲9.0%

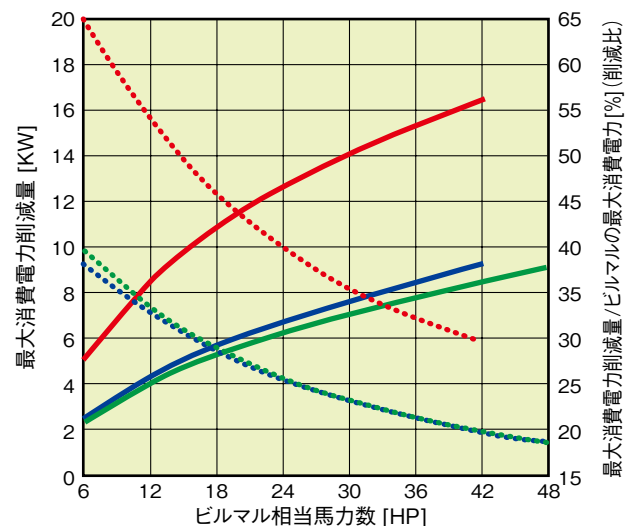
建設地：東京
最大冷房負荷率：100%

冷房運転時間・日数
事務所：1337 [h/年]
125 [日/年]
店舗：1804 [h/年]
184 [日/年]

ビルマルの容量が大きい程削減率は下がりますが、削減される電力量は増加します。

エバチルド®システムには、ビル用マルチ冷媒サブクールシステムの多数の運用実績から得られた、**運転信頼性の高さ**と**省エネ効果の確かさ**があります。

■エバチルド® システムのピークカット効果の試算例



— 削減量：R407C 機種 A 削減比：R407C 機種 A
— 削減量：R410A 機種 B 削減比：R410A 機種 B
— 削減量：R410A 機種 C 削減比：R410A 機種 C

建設地：東京 最大冷房負荷率：100%

消費電力 = 室外機消費電力 + エバチルド®消費電力 (250W)

最大消費電力を、冷媒R407Cのビルマルで**30～65%**、冷媒R410Aのビルマルで**19～40%**削減

■エバチルド® ユニットの仕様

本体	外形寸法 [mm]	500W×650D×1100H
	製品重量	約 90 kg (運転時)
	風量	約 2400 CMH
	散水量	約 24 L/min
	熱交換器	CUPφ9.53 22 列×5 段×480L 伝熱面積 1.6 m ²
電源	電圧	3φ200V
	消費電力	250/285W (50/60Hz)
給水	使用水量	最大連続使用水量 0.25 L/min
	圧力	0.01 ~ 0.5 MPa
	水質	冷却塔補給水の水質基準 (日本冷凍空調工業会 JRA-GL 02) に準じる
接続配管サイズ	冷媒液管	CUPφ22.22 (ろう付け)×2 箇所
	給水管	15A メス (真鍮メッキ)
	排水管	VP15A 単管



- 冷媒の温度低下を目視できる、冷媒温度センサ付き
- 断水時に自動停止して故障を防止する、断水検知機能付きのオプション品もございます。

実証番号 050-0502



「ビル用マルチ冷媒サブクールシステム」は、平成 17 年度の環境技術実証モデル事業（ヒートアイランド対策技術）の実証対象技術に選定されました。「ビル用マルチ冷媒サブクールシステム」（サブクールユニット STK-HE280A を使用）の性能に関する情報は、環境技術実証モデル事業のウェブサイト (<http://etv-j.eic.or.jp/>) でも入手することができます。環境技術実証モデル事業の名前やロゴマークの使用は、この技術やその性能に関して、環境省等による保証・認証・認可等を謳うものではありません。